

2022年度・新聞報道記事編

撮影日時：2022年7月26日（火）

撮影場所：青山彩光苑・正面玄関

87 北國新聞社の取材

7月26日（火）午後に、北國新聞七尾支局より「車いす目線から巡る七尾市直津地区」の冊子完成について取材を受けました。 - 写真は新聞記者・担当介護職員・桶屋一



(写真撮影・提供：「青山彩光苑」総務課職員)

車いすの目線で冊子
七尾の桶屋さん

七尾市青山町の障害者支援施設「青山彩光苑」に入所する桶屋善一さん(68)は26日までに、電動車いすで施設周辺のバリアフリー状況を調べた冊子を作った。舗装工事や歩道が広がった県道やスロープを使って

バスに乗り降りする様子などを写真付きで紹介した。冊子のタイトルは「車いす目線から巡る七尾市直津地区」。A4判65面で30冊作製した。桶屋さんは施設職員や友人と撮影した写真をパソコンに取り込み、文章を打ち込んだ。生後間もなく脳性まひを

患った桶屋さんは1985(昭和60)年から施設に入所している。障害のある人が気軽に出入りされる一助になればと、これまで和倉温泉や金沢駅などのバリアフリー状況を調べた冊子を作った。桶屋さんは「今度は能登食祭市場を扱った冊子にしたい」と語った。



- 2022年7月27日（水）「北國新聞」朝刊 -

「車いす目線から巡る七尾市直津地区」の表紙